

資質・能力を育てる カリキュラム・マネジメントの 実現のために



京都市立高倉小学校

校長 岸田 蘭子

小学校学習指導要領 総則（平成29年3月31日公示）における記述（①②③下線は筆者注記）

第1 小学校教育の基本と教育課程の役割

1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、児童の人間として調和のとれた育成を目指し、児童の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。

4 各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、
①教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、
②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、
③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通じて、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(以下「カリキュラム・マネジメント」という。)に努めるものとする。

本日の話の流れ

序論 カリキュラム・マネジメントとは

- (1) 学校運営とカリキュラム・マネジメント
 - (2) 社会に開かれた教育課程の実現に向けて
 - (3) カリキュラム・マネジメントの実際
 - どのように教育課程の管理・運用するか
 - (4) カリキュラム・マネジメントによる実践事例

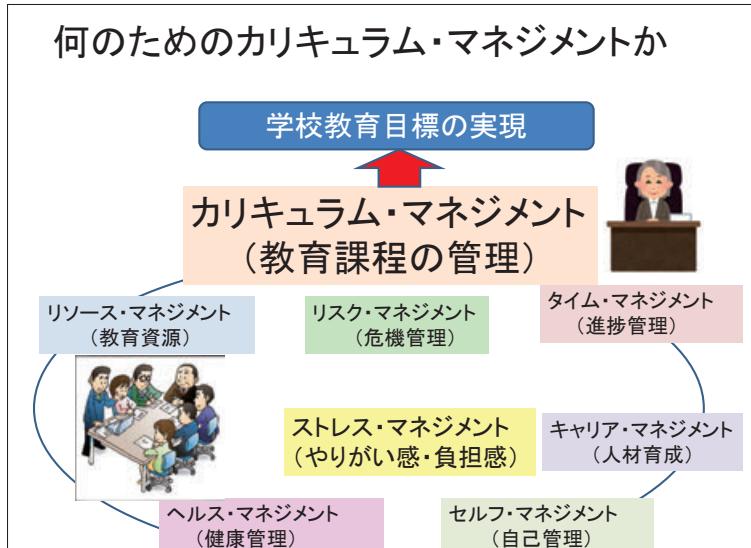
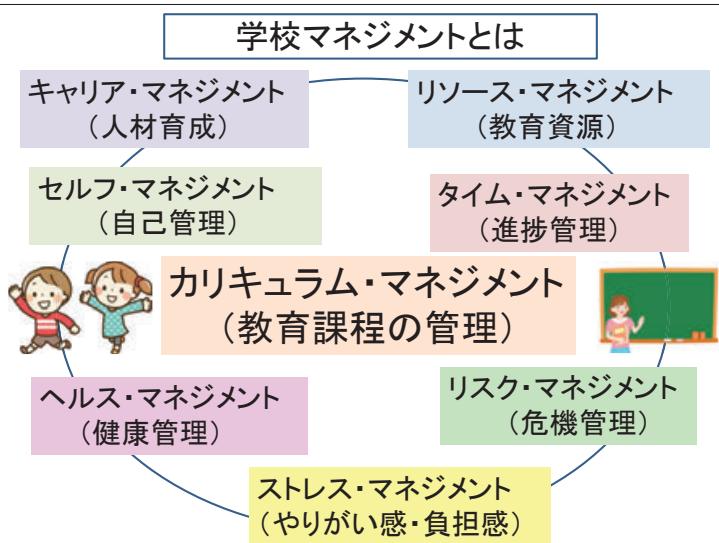
小学校学習指導要領 総則（平成29年3月31日公示）における記述（①②③下線は筆者注記）

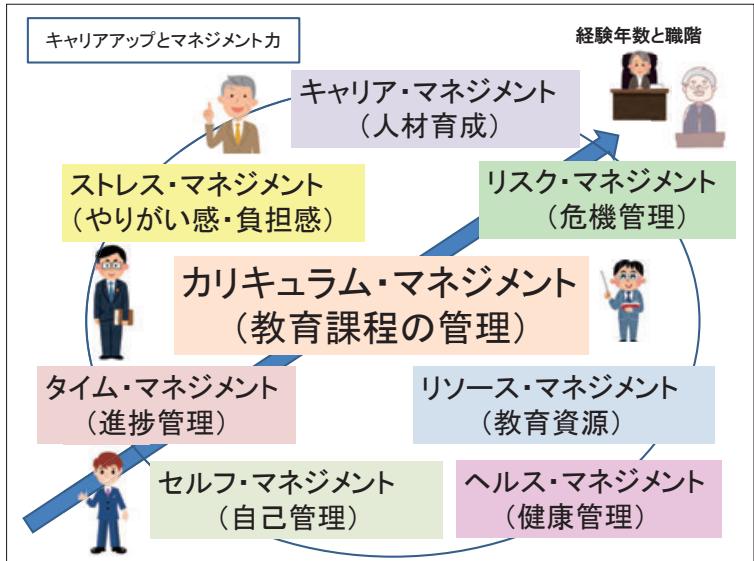
第5 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価等

ア 各学校においては、校長の方針の下に、校務分掌に基づき教職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを行うよう努めるものとする。

また、各学校が行う学校評価については、教育課程の編成、実施、改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施するよう留意するものとする。





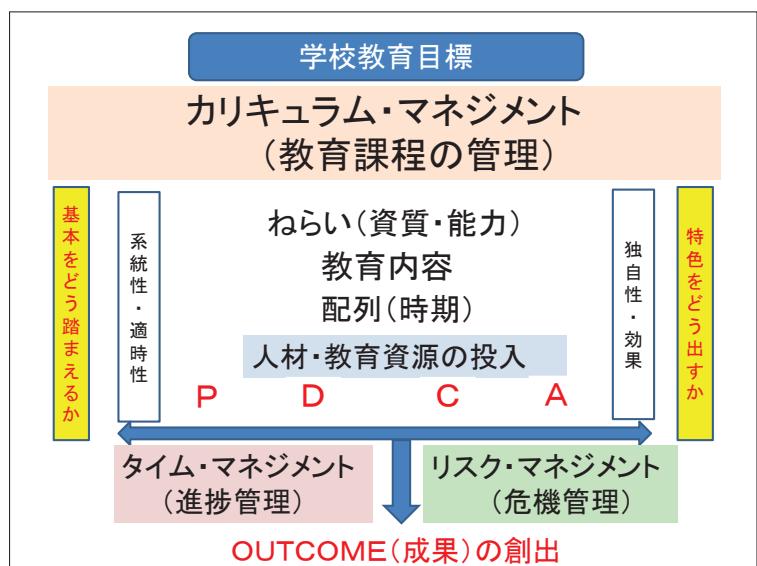
カリキュラム・マネジメントだけ
やっているわけではない

しかし、

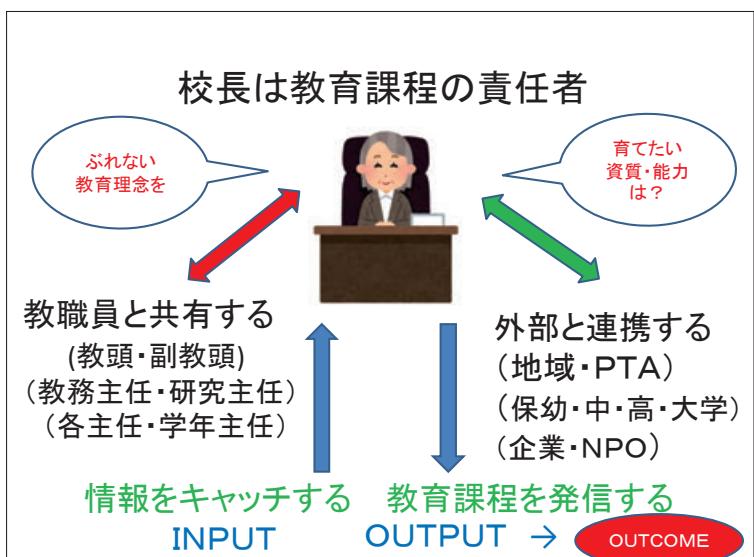
カリキュラム・マネジメント抜きには
語れない



いつも教育課程に立ち戻る学校経営を

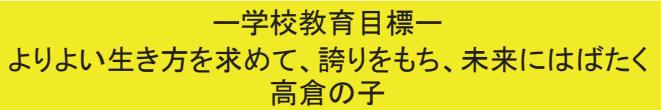
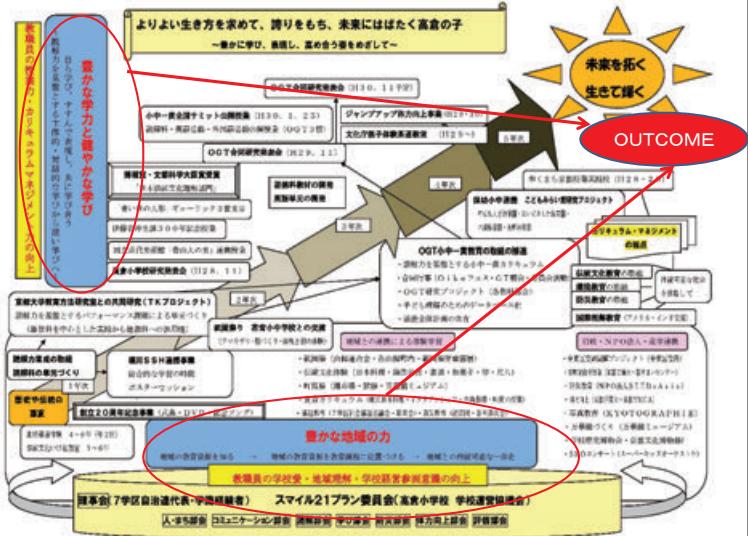


校長とカリキュラム・マネジメント



カリキュラム・マネジメント スケジュール

- 4月 学校経営方針の明示 各主任との共有
各学年の教育課程の方向性確認
- 5月 教育課程の整備から実現へ
教育課程の実施状況の管理 具体化
- 6~7月 実施状況の管理 具体化
1学期の振り返り 後半の修正確認
- 9月~11月 実施状況の管理 具体化
2学期の振り返り
- 1月 今年度の課題の洗い出し
- 2~3月 次年度の教育課程の整備に着手



自ら学び、高め合い、生活中に生きる学びをつくりだす子
～読解力を基盤とする主体的・対話的で深い学びのある学習の構築～

問題解決力 メタ認知力 教科横断的な汎用的スキル

問題解決力

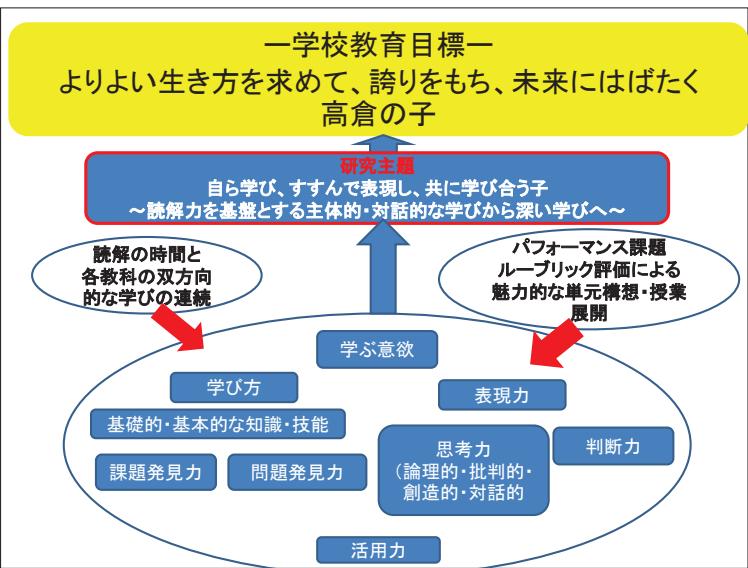
メタ認知力

教科横断的な汎用的スキル

深く豊かに思考する活動を生み出しつつ、その思考のプロセスや成果を表現する機会を盛り込み、思考の表現をエビデンスとして評価していく

讀解力

課題設定力・情報活用力・記述力・コミュニケーション力



社会に開かれた教育課程

時代の風をどう読むか

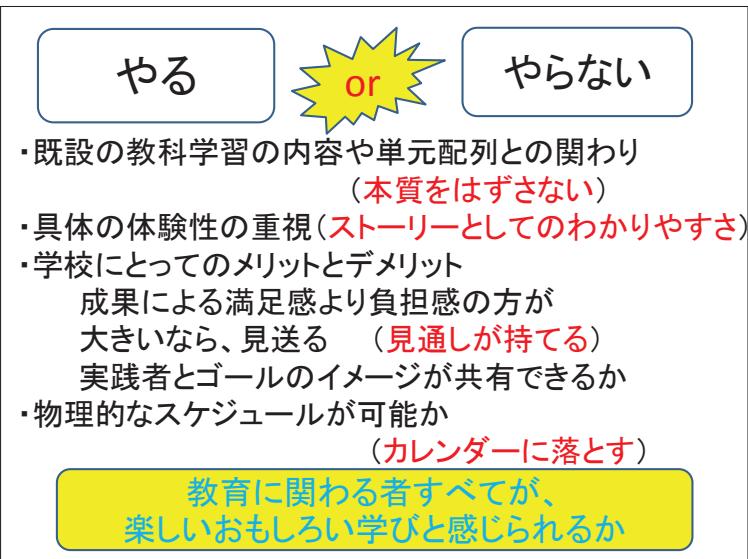
実行に移すために誰と組むか

実践は誰に任せらるか

子どもにとってプラスか



やる or やらない



カリキュラム・マネジメントによる 成果をもたらすために

- ・与えられた使命を果たすこと ミッションの把握
 - ・当事者の満足度をあげること ニーズの把握
 - ・自校の特色をだすこと 強味を生かす
 - ・時代のニーズにあったこと チャンスを生かす

新たなムーブメントにより

リソースのポテンシャル

を引き出すこと

足元にある
宝物への気づき



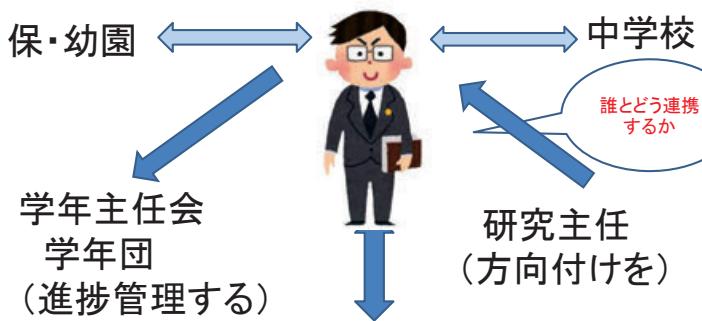
校長は育てたい資質・能力ベースの成果をもたらす新たな秩序を生み出すムーブメントをどうやって起こすのか

- ①ゴールを共有する
- ②根拠と見通しのない冒険はしない
- ③自分たちにしか出来ない挑戦をさせる
- ④当事者自身が新しい風を感じて自負する



教務主任とカリキュラム・マネジメント

教務主任は教育課程の番人

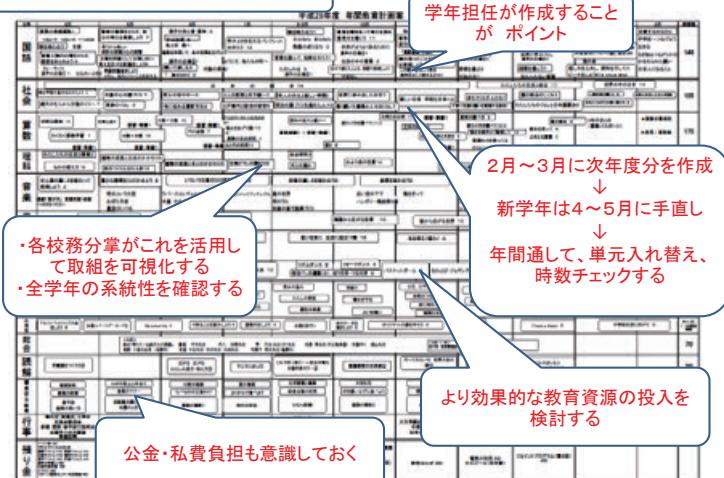


実現に向けて多様な要素を調整する

カリキュラム・マネジメント スケジュール

4月	学校経営方針をうけて教育課程作成
5月	教育課程の作成 時数管理チェック 評価規準の確認 補助簿確認
6~7月	実施状況・進度・評価物の管理
8月	1学期の振り返り 後半の修正確認
9月~11月	実施状況・進度の管理
12月	2学期の振り返り 課題の整理
1月	次年度の年間計画作成
2~3月	次年度の教育課程の整備に着手

各学年の年間指導計画を作成する



小学校学習指導要領 総則（平成29年3月31日公示）における記述

第2 教育課程の編成

2 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

(1) 各学校においては、児童の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

(2) 各学校においては、児童や学校、地域の実態及び児童の発達の段階を考慮し、豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくことができるよう、各学校の特色を生かした教育課程の編成を図るものとする。

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数		
国語	言葉の準備運動1 つないで つないで、一つのお話を味わおう 支度 登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう 6 カレーライス 漢字の広場① はるのいぶき 2	筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう 7 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 立場を明確にして主張したい、考え方による討論をしよう 漢字の広場② 伝えにいくことを伝える 学級討論会しよう	漢字の形と音・意味 2 本は友達 6 私と本 箱へ 施設を利用して、本の世界を広げよう 漢字の広場②1 聞いて楽しもう 河鹿の屏風1 1 夏のさかり 2	町のよさを伝えるパンフレットを作ろう 12 よこそ、私たちの町へ 言葉を選んで、短歌を作ろう1 たのしみは 3 漢字の広場③1 やまなし	詩を味わおう1 せんねん まんねん 熟語の成り立ち 2 意見を聞きあって考えを深め、意見文を書こう 11 未来がよりよくなるために 漢字の広場④1 生活の中の言葉 2 自分で感じたことを、朗読で表現しよう 読み取ったことや見聞きを表現しよう この本、読みました 漢字を正しく使えるように	意見文を書こう 11 未来がよりよくなるために 漢字の広場④1 生活の中の言葉 2 自分で感じたことを、朗読で表現しよう 読み取ったことや見聞きを表現しよう この本、読みました 漢字を正しく使えるように	秋の物語 筆者の自分なり 「鳥」 読み取ったことや見聞きを表現しよう この本、読みました 漢字を正しく使えるように	意見文を書こう 11 未来がよりよくなるために 漢字の広場④1 生活の中の言葉 2 自分で感じたことを、朗読で表現しよう 読み取ったことや見聞きを表現しよう この本、読みました 漢字を正しく使えるように	意見文を書こう 11 未来がよりよくなるために 漢字の広場④1 生活の中の言葉 2 自分で感じたことを、朗読で表現しよう 読み取ったことや見聞きを表現しよう この本、読みました 漢字を正しく使えるように	意見文を書こう 11 未来がよりよくなるために 漢字の広場④1 生活の中の言葉 2 自分で感じたことを、朗読で表現しよう 読み取ったことや見聞きを表現しよう この本、読みました 漢字を正しく使えるように	意見文を書こう 11 未来がよりよくなるために 漢字の広場④1 生活の中の言葉 2 自分で感じたことを、朗読で表現しよう 読み取ったことや見聞きを表現しよう この本、読みました 漢字を正しく使えるように	卒業するみなさん 中学校へつなげよう 生きる とらえ、人物 話しあう6 生き物はつながりの中 かなえられた願い 日本人になること	146	
社会					日本 の歴史 74							105		
算数						歴史学習の基本をおさえよう 2 天皇中心の国づくり 7 繩文のむらから古墳のくにへ 7 貴族のくらし 3	武士の世の中へ5 3人の武将と天下統一7 町人の文化と新しい学問6 今に伝わる室町文化4 江戸時代と政治の安定5 明治の国づくりを進めた人々8 長く続いた戦争と人々のくらし7	比例と反比例 17 復習・準備1 分数÷分数 10 復習・準備1 分数×分数 13 円の面積 7 復習・準備1 算数の自由研究 1 復習・準備1 比とその利用11	どんないきさんになるのか 場合をあげて調べて 3 算数実験! 1 復習・準備1 速さ 8	図形の拡大と縮小11 変わり方を調べて(1)3 算数実験! 1 復習・準備1 比例と反比例 17 復習・準備1 資料の調べ方 8 立体の作り方 7 変わり方を調べて(2)3 場合を順序よく整理して 19 割合を使って 4 量の単位 6 6年のまとめ (算数バースポート)	新しい日本、平和な日本へ6 まちでくらす人たち 子育て支援の声・お宝探する政治7 わたしたちのくらしと日本国憲法6 日本とつながりの深い国々5、5 ★算数卒業研究 ★発見！算数島	★算数卒業研究 ★発見！算数島	175	
理科						わたしたちの生活と環境2 やのの燃え方 10	植物の成長と日光のかかわり5 植物の成長と水とのかかわり5 生物どうしの関わり6 体のつくりとはたらき12	自由研究 3 月と太陽8	水よう液の性質14					
音楽						せん・津の美しさを味わって表現しよう 2 国歌「君が代」 京都市歌・校歌 つづきをください	豊かな歌声をひびかせよう 6 明日という大空 おぼろ月夜 星空れいつも	いろいろ音のひびき 10 ラバースゴンチャーリー 木星 木星 山をくぐってアサンブル	和音の美しさを味わおう8 星の世界 雨のうた 和音の音で旋律づくり	曲想を味わおう6 広い空の下で ハンガリー舞曲第5番	物語から広がる世界 10 物語から広がる世界 10			
								思いを形に 生活に役立つ物 14	冬を明るく輝か 6					
外国語						はげまし合う心 1 すっきりしない気持ち 1 私と友達 1 生きる 1	友達を旅行に 1 できることを紹介しよう 5 道案内をしよう 4	男女の協力 1 わたくしの家族 1 個性の伸長 1 自分の一日を紹介しよう 5 友達を旅行に 1 自分の一日を紹介しよう 5 オリジナルの劇を作ろう 6	気配り 1 郷土を守る 1 よい校風に 1 自分の一日を紹介しよう 5 友達を旅行に 1 自分の一日を紹介しよう 5 オリジナルの劇を作ろう 6	公正、公平 1 自然のつくり 1 志に向かう 1 調査実習 1 相手の立場に立って 1 くじけない 1 夢に向かって 1 日本の心 1 自然との共生 1 自分の長所 1 友を思う心 1 隣の国の人々と 1 差別に立ち向かう 1	I have a dream 5 中学校生活に向けて 6	35		
総合							<6月> 総合! 探ろう！伝統文化の真髄 書道 竹本先生 尺八 四宮先生 琴 大日(おおぐさ)先生 狂言 泉先生(大江能楽堂) 花器作り 高山先生 落語 小島元会長(宝戒寺) 茶道 中谷先生 向井先生 太田先生 和菓子 西井先生(椎廣承)					50+(5) (以降余 時間)	70	
読解						学級旗をつくろう③	広がる 広げる わたしの見方・考え方③	アニマシオン①	これですっきり！～自分の考えを書き表そう～③	読書感想文交流会②	行ってみよう おもてなし おもてなし			
健 康 安 全 教 育						健康診断 給食の約束 登下校 遊具の使い方	けがの防止と手当 食事のマナー 自転車の乗り方 地震のとき	口腔の健康 たべもの三食わけ 道路の横断1	夏の健康 よくかんで食べよう 規則の安全	生活習慣と健康 給食当番の約束 ひなん訓練 道路の横断2	大切な目 好き嫌いせずに食べよう 道路の横断2			
行事						着任式・始業式・入学式 生徒会歓迎会 参観・懇談・修学旅行説明会 全国学力状況調査 家庭訪問	修学旅行	夏季休業	大文字駅 空港駅 科学センター学習	待久木入来 個人懇談会	京都御池中学校説明会 巡回工作展	卒業証書授与式		
預 り 金						ノート用 120 ファルカラーフィルム A4S 80 国語テスト上 410 算数テスト上 410 社会テスト上 410 理科テスト上 410 英語テスト上 430 1年定期リール上 410 漢字の学習 400 社会科資料集 600 エプロン 880 スポーツ振興センター共済掛金 460			彩色はんが 250	電気の利用 630 オルゴール(卒対費)	ジョイントプログラム(第4回) 450			
実 習 材 料 費							シール カット判マグシート	ポスター用模造紙						

学年担任が作成すること
が ポイント

- 各校務分掌がこれを活用して取組を可視化する
- 全学年の系統性を確認する

2月～3月に次年度分を作成

↓
新学年は4～5月に手直し

↓
年間通して、単元入れ替え、時数チェックする

より効果的な教育資源の投入を検討する

公金・私費負担も意識しておく

→「教科等を見渡した教育課程づくり」
→読解の時間を核に教科等横断的に育成

(1)「読解の時間」のカリキュラム

カリキュラムの編成にあたっては、児童・生徒の発達段階に合わせて、目標と付けたい力を整理し、キーステージ間で系統性がみられるように考えている。

(2) その他の教科等のカリキュラム

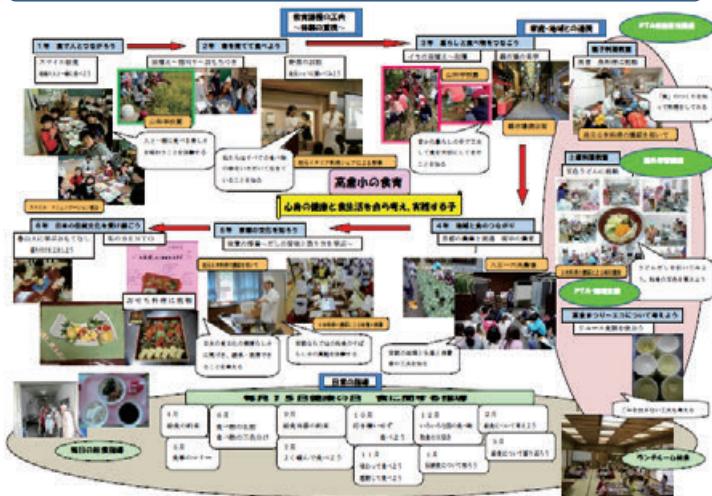
その他の教科等でも各学年で身に付けておきたい読解力の一覧にすることによって、各学年、キーステージごとのつながりを意識して、日々の授業を組み立てるようしている。

例: 読解部の活用 読解の時間と各教科の関連を図る

例:図書部の活用(読書ノートの活用・図書館活用の授業計画)

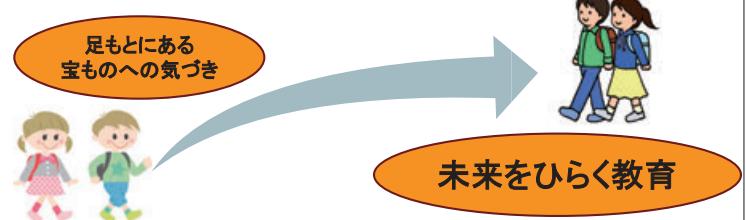
例: 体育部の活用 体力向上の取組をすすめるために関連時間を確認する

食育スタンダードカリキュラム：食に関する全体計画の系統性を可視化する



教務主任が心がける カリキュラム・マネジメントのポイント

- ①基礎・基本をふまえ、確実に遂行する
 - ②発達をふまえて系統性や順序は妥当か
 - ③より効果的な方法はないか
 - ④PDCAは具体的に機能しているか



例：読解部の活用 読解の時間と各教科の関連を図る

平成29年度 5年 年間教育計画 読解科と各教科・領域との関連案

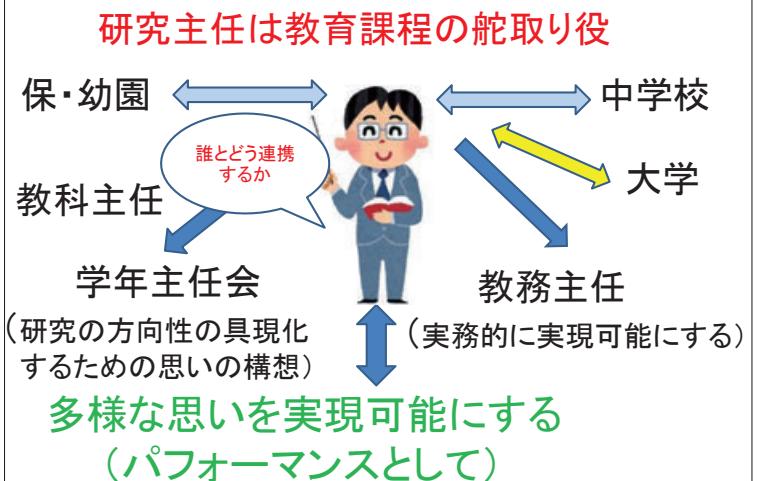
平成29年度 5年 年間教育計画 読解科と各教科・領域との関連												H29年度 他教科・多領域に移行する単		関連が深い他教科・多領域	
5年	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数			
国語	5年生の国語学習を始めよう 丘の上の学校であめ玉 人物のかかわり合いを読み、感想を書こう③ なまえつけてよ 4 漢字の広場①② 季節の言葉①②	筆者の考え方をうらみ、自分の考えを発表しよう 7 見立てる 生物は円柱形 竹取物語・枕草子・平安物語 漢字の広場② 「きくこと」について考えてみよう④ きいて、きいて、きいてみよう 漢字の広場②	本は友達 5 広がる、つながる、わたくしの花 千年の釘にいのむ「コラム」 敬語 2 漢字の広場 1	事実と考えを区別して、活動を報告する 文章を書こう⑩ 次への一歩ー活動報告 季節の言葉② 漢字の広場③	詩を味わおう 1 からたちの花 カンジー博士の暗号解説 2 言葉をよりすぐって俳句を作ろう 3 日常を十七音で 和語・漢語・外来語 2	考えを明確にして話合い、提案する文章を書こう⑭ 明日につづくわたしたち「コラム」意見が対立したときには 漢字の表記方と使い方2	漢字の広場④ 1 説明のいたしたの工夫を見付け、話し合おう 6 天気を予想する 理由づけを明確にして説明しよう 4 グラフや表を引用して書こう わからなくなったら	同じ読み方の漢字 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう 7 百年後のふるさとを守る 声に出して読もう1 古典の世界2 言葉について考えてみよう① わからなくなったら	詩を味わおう 2 詩の楽しみ方を見つけよう 事例と意見の関係をおさえて、自分の考えをまとめよう 6 想像力のスイッチをいれよう 漢字の広場⑤ 1 見るのなぞしき 1	説得力のある構成を考え、すいせんしま 複合語 2 冬の朝 2	特色をとらえながら読み、物語を巡って話し合おう わらぐつの中の神様 表現を工夫して物語を読む 一まいの写真から漢字の広場⑥ 2 五年生をぶらかえよう	146			
	世界の中の日本 8	わたくしの国土 20 国土の地形の特色 3 低い土地のくらし 5	わたくしの生活と食糧生産 25 給食の材料 1 コメ作りのさかなん地域 9 人を支える食糧生産 4 水産業のさかなん地域 5	わたくしの生活と工業生産 23 工場生産を支える 工業生産と工業地域 4 自動車をつくる工業	情報化した社会とわたくしの生活 16 われたちをとりまく情報 1 情報産業とわたくしのくらし 6	わたくしの生活と環境 16 自然豊かな国 日本 1 環境を守るわたくし 5	105								
	みんなで話しあいましょう 1 体積 12	整数×小数 4 みんなで話しあいましょう 1 体積 12	分数×分数 11 式と計算 同じものに目をつけて 3 算数の自由研究 1 合同な图形 1	分数 15 どんな計算になるのかな 1 算数の自由研究 1 整数 13	人文字 2 よみとる算数 ★算数のまと 面積 14	平面とその利用 8 面積あたりの大きさ 3	割合 16 面積を使って 2 順々に並べて 3	円と正多角形 8 角柱・円柱 7	○や△を使った式 3 輪投げ 1 よみどる算数 1 もうすぐ6年生 4	180					
	天気と情報(1) 11 理科の学び方・条件を整えて	生命のつながり(1) 生命のつながり(2) 5	生命のつながり(3) 6 生命のつながり(4) 3 自由研究 3 生命のつながり(5) 9	天気と情報(3) 3 流れれる水のはたらき 14 電磁石の性質 12	もののとけ方 15	ふりこの動き 11	105								
	ゆたかな歌声をひびかせよう 6	いろいろな音のひびきを味わおう 11	和音の美しさを味わおう 6 曲想を味わおう 8	詩と音楽を味わおう 5 日本と世界の音楽に親しうる 5	心をこめて表現しよう 9	50									
図工	立ち上がり!マイ・ライン 4	カードを使って 2 紙園祭り 6	物語から広がる世界 6	心の形 2 刷り重ねて表そう 6	くねくねねのパズル 6	何をかいしているのかな 1	50								
家庭	家庭科の学習を始めよう	わが家に ズームイン! 4	ひと針に心をこめて 9	おいしい 楽しい 調理の力 食べて元気!ご飯とみそ汁 10	めざそら 買い物名人 7	物を生きて住みやすく 8 ミシンにトライ! 手作りが楽しい生活 15	60								
体育	体ほぐしの運動(1) ストレッチ体操 3	フォーカダンス 3 表現「創作エイサー」 6	体ほぐしの運動(2) すもあそび 4 水泳 12	リレー 6 マット運動 6 ベースボール 5 走りははとじ 6	鉄ぼう運動 4 なわとび・ショギング 5	跳び箱運動 6 ソフトバレーボール 6 バスケットボール 6	90								
道徳	長所を見つけて 親切な心 いつも正しく	生き方に学ぶ 自由な行動 命をいとおしく 勇気を出して	誰を愛する心 男女の協力 広い心で 勇気正しく	家族の幸せ たがいに信頼し、学び合って わたしの家族 公正、公平な考え方	自然の愛護 法や決まりを守って 希望と勇氣	方を合わせて 便利なものを 自然を愛する心 公共のために	大切なる命 感謝して 感謝して	節度をも 真心をも その人の身になって ふるさとを愛する心 仕事の尊さ	文化の違いをこえて 希望をもって その人の身になって ふるさとを愛する心 仕事の尊さ	誠実な心 公徳心をもって 素晴らしい学校に	35				
外國語活動	Hello! 2	I'm happy 2	How many 4	I like apples 5	What do you like 4	What do you want 5	What's this 4	I study Japanese 5	What would you like 4	35					
総合	つながる つながれ 紙園祭 26	生け花 2	スチューデントシティ 18	情報 2 ○○で守る高齢の街 20	70										
読解	マッピングで分析しよう なるほど! ザ・課題づくり ③	伝わる説明・秘密発見! ②	意見文で話しあおう 次はどうなるのかな ③	計画立てよう 知れば知るほど考えは変わる 読書感想文交流会 ②	アニメーション ① アニメーション ①	プレゼンカアップ! ③ カタログって便利	35								
健康教育	健康診断 給食の約束 登下校 運具の使い方	けがの防止と手当 食事のマナー 自転車の乗り方1 地震のとき	口腔の健康 たべものの三食わけ 道路の横断1	夏の健康 よくかんで食べよう 校外の安全	生活習慣と健康 給食・当番の約束 ひなん訓練	大切な目 好き嫌いせずに食べよう 道路の横断2	姿勢と健康 感謝して食べよう 自転車と人1	冬の病気の予防 和食の大切さ 校内の安全	免疫力 伝統食について知ろう 自転車の乗り方2 地震にそなえて	心の健康 給食について考えよう ふみきりを渡るとき	1年間の反省 給食の反省をしよ 自動車と人 自動車に乗るとき	11			
他学年	4年 国語組み立てを書こうと考えて書こう				6年 国語意見を聞きあって深め、意見文を書こう										
行事	・在籍式 ・始業式 ・入学式 ・町別集会 ・参観・懇談 ・家庭訪問	・春の遠足 ・自由参観・1年生を迎える会 ・避難訓練	・運動会 プール開き	・学年別・町別集会 ・個人・三人者懇談 ・避難訓練一斉下校	・長期宿泊学習	・研究発表会	・個人懇談会 ・町別集会	・書初め	・半日入学・入学説明会	・町別集会 ・修了式					

例:図書部の活用(読書ノートの活用・図書館活用の授業計画)

食育スタンダードカリキュラム: 食に関する全体計画の系統性を可視化する



研究主任とカリキュラム・マネジメント



学校教育目標を実現する教育課程の編成 取組の柱と基本的な考え方

- 各教科・領域の学習を「つなぐ」
○子どもと家庭や地域の人材を「紡ぐ」
○時代を超えて学びを継承させる「繋ぐ」
○学校から他の地域や他国に発信しながら
【TSUNAGU】

生活への実践化・行動化

社会に開かれた教育課程

具体的な取組例

○学校・地域特有の

教育資源活用の視点から



○学校・地域特有の 教育資源活用の視点から



伊藤若冲を訪ねて

自己の生き方を見つめなおすこと
→ 豊かな人間性を育む

○他教科・領域との関連や
カリキュラム・マネジメントの視点から

※成27年度 5年 基礎教育計画 課教科と各教科-総合との関連度

カリマネ実践① 自然との共生と多様性の重視

5年総合「つながる つなげる 祇園祭」



粽の帶巻き体験

祇園祭曳き初め体験



カリマネ実践① 自然との共生と多様性の重視

生活文化と自然のつながり
「祇園祭とチマキザサとヒオウギ」



チマキザサプロジェクトより

カリマネ実践① 自然との共生と多様性の重視

「祇園祭とチマキザサとヒオウギ」

京都新聞 2014.9.4(木)

京都新聞 2015.9.3(木)

都市部の高倉小学校と山間部の花背小学校との交流

カリマネ実践① 自然との共生と多様性の重視 読解の時間 「なるほど！ザ・課題作り」



たかくら学習にふさわしい課題を考え,
つくれみよう。



ヒオウギ, チマキザサ, 神輿, 山鉾



4つのテーマから, 追究課題を設定し, まと
めたことをポスターセッション

カリマネ実践① 自然との共生と多様性の重視

「祇園祭とチマキザサとヒオウギ」



カリマネ実践① 自然との共生と多様性の重視

5年祇園祭児童絵画展 これまでの作品

2016年 5年生 掛け軸



カリマネ実践① 自然との共生と多様性の重視

5年 図画工作科 「美術館にでかけよう」



京都市美術館に
伊藤若冲の絵を見に行こう。



祇園祭り児童絵画展 これまでの作品

2017年 5年生 「甦れ 高倉のほこ」



祇園祭り児童絵画展 本年度の作品

2018年 「ザ・うちわ」



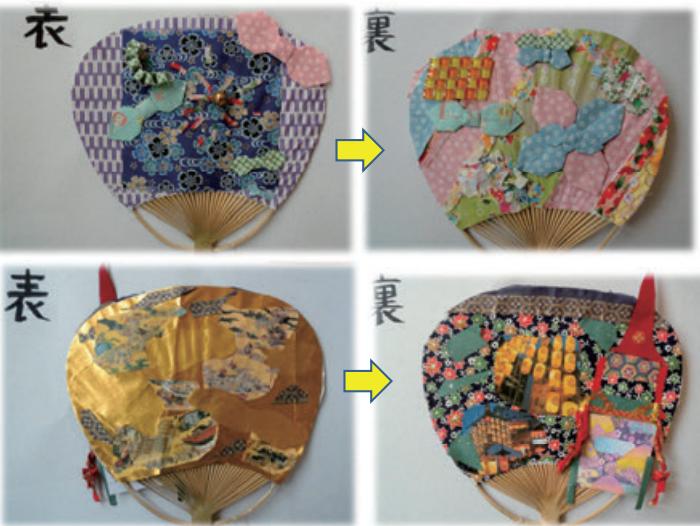
裏面を作る時に示したルーブリック

祇園祭り 児童絵画展 ~祇園祭の世界をうちわの中に表現しよう~

【本時のめあて オリジナルうちわを完成させよう。】<裏面・柄の部分を仕上げて完成だ>

☆よりそばらしい作品（満足度100点をめざして）にせるためにルーブリック☆ ~最高のうちわを目指して~

制作ポイント	A	B	C
京都らしさ 作品の丁寧さ	・祇園祭をイメージして、祇園祭に関連するものやモチーフにしたり、コラージュや手作りの物をはるなどして、京都らしさが伝わるような作品にならべている。 ・さらに、自分であまり残っておらず、丁寧に作品を作れている。	・祇園祭をイメージして、作品をつくれている。 ・丁寧に作品を作れている。	・祇園祭のイメージがあまり伝わっていない。 ・切り方や振り方が遅である。
大きさ・形・色合 い・素材の組合せ	・大きさ・形・色合いなどを考えて、デザインしたり、切ってはつたりしている。 ・素材どうしの組み合せも考えて、作っていている。 ・自分で集めた材料をこだわってつかってている。 ・のり、ボンド、園芸テープ・マスキングテープなど材料にあった器具で接着している。	・大きさ・形・色合いなどを考えて、はつっている。 ・自分で集めた材料をうまくつかっている。	・大きさ・形・色合いなどを工夫できない。 ・自分で集めた材料はほとんどつかっていない。
あなたらしい工夫	・だれにもまわできないようなあなたのだけの作品になっている。 ・祇園に参加した人が作品を見てたに、「これはユニークな作品だな」「面白いな」と感じてもらえるような世界にたった一つのオリジナル作品になっている。	・自分らしい工夫ができる。 ・完成の作品をいろいろを自分の作品にも取り入れて、ある種廣瀬風のいく作品になっている。	・自分らしい作品にはまっていない。 ・あまり工夫ができない。



カリマネ実践② 自分を拓き他を受け入れる 自國の文化から国際社会へ

「青い目の人形」



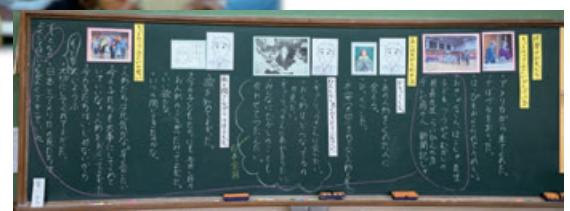
カリマネ実践② 自分を拓き他を受け入れる 自國の文化から国際社会へ

5年生

自作教材「青い目の人形」

<道徳の学習>
1~6年

3年生の
板書の
様子



カリマネ実践② 自分を拓き他を受け入れる <外国語活動> 自國の文化から国際社会へ

「青い目の人形」

第5学年 「 Where are
you from? 」



カリキュラムマネジメントを
意識して



カリマネ実践② 自分を拓き他を受け入れる 自國の文化から国際社会へ

パフォーマンス課題

<メリーちゃん里帰りプロジェクト>

MISSION 1

人形たちのパスポートを作って交流し、出生地のたずねかたや答えかたに慣れよう！

MISSION 2

自分のオリジナルパスポートを作り、出入国審査を通過して人形達にゆかりのある州を訪ねよう！

MISSION 3

学習した英語表現を用いて、ボストンの児童に京都を身近に感じてもらえるようなビデオレター作りをしよう！

カリマネ実践② 自分を拓き他を受け入れる 自國の文化から国際社会へ

カリマネ実践② 自分を拓き他を受け入れる 自國の文化から国際社会へ

外国語活動 指導案より

☆今までの学習を
生かして
☆他教科・領域を
またいで



「青い目の人形」



カリマネ実践③ 家庭科と外国語活動

「ひと針に心をこめて」 マイミニバッグを作ろう



来年の5年生のためにミニバッグの作り方ガイドブックを作ろう。

次 時	学習活動	観点別評価の視点（方法）
第 1 次	○針と糸を使ってできることを、生活から探す。 ・裁縫用具の名前を確認する。安全な使い方を考える。 ・針と糸を使ってできることを自分の生活から探し、交流する。 ・学習の見通しをもつ。	閑 縫うことや裁縫用具の扱いに关心をもっている。（観察・ワークシート） 知 裁縫用具の名前や安全な使い方を理解している。（ワークシート）
	○基礎的な縫い方・特徴を知る。 ・玉結び・玉どめ ・なみ縫い ・ボタン付け ・返し縫い ・かがり縫い	技 針に糸を通す。玉結び・玉どめ、なみ縫い、二つ穴ボタンつけ、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫いができる。（作品）
	○ミニバッグの製作計画を立てる。 ・ガイドブックにデザイン画を記す。	理 なみ縫いの方法と縫い目をしごく意味、ボタン付けの方法、本返し縫い・半返し縫い・かがり縫いの特徴を理解している。（観察・作品） 創 色や形を工夫して、ミニバッグの製作計画を立てる。
第 2 次	○手縫いでミニバッグを製作する。 ・選んだ色のフェルトを型紙に合わせて裁つ。 ・2枚の布を合わせて本体を作る。 ・ハンドルをつくる。 ・ボタンをつける。 ・ハンドルにボタンホールをあけて仕上げる。	閑 手縫いで開心をもじろ的に合った縫い方で生活にやくだつものを作成しようとしている。（観察・ワークシート） 知 用具を安全に取扱い、玉結び・玉どめ、なみ縫い、返し縫い、ボタン付けを使って小物入れを製作することができる。（作品・観察） 創 手縫いを用いて製作する楽しさや喜びを味わっている。（振り返りカード）
	○針と糸を使って、家庭生活を工夫する。 ・作品製作を振り返り、工夫や改善点を交流し、ガイドブックに書き入れる。	閑 自分の作品を振り返りながら、製作過程で注意する点や工夫すると良い点をまとめている。（ガイドブック）
第 3 次		

ミニバッグ

ガイドブック

作業を言語化

↓

知識と技能の一体化

↓

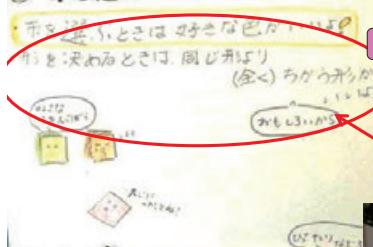
基礎技能の確実な習得

△運針の指導が難しい。

- 個性・創造性が生かせる→達成意欲UP↑
- 実践に即した技能習得
- 時間差がなくなる→時間短縮
- ふりかえりが児童の「やりたい！」活動に。

ガイドブック作り

① 布を選ぶ 我をきくね



③ 本体をぬい合せる

課題解決のプロセスを言語化



外国語活動「デザイナーになろう」との関連

次 時	学習活動	観点別評価の視点（方法）
第 1 次	○針と糸を使ってできることを、生活から探す。 ・裁縫用具の名前を確認する。安全な使い方を考える。 ・針と糸を使ってできることを自分の生活から探し、交流する。 ・学習の見通しをもつ。	閑 縫うことや裁縫用具の扱いに关心をもっている。（観察・ワークシート）
	○基礎的な縫い方・特徴を知る。 ・玉結び・玉どめ ・なみ縫い ・ボタン付け ・返し縫い ・かがり縫い	技 針に糸を通す。玉結び・玉どめ、なみ縫い、二つ穴ボタンつけ、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫いができる。（作品）
第 2 次	○手縫いでミニバッグを製作する。 ・選んだ色のフェルトを型紙に合わせて裁つ。 ・2枚の布を合わせて本体を作る。 ・ハンドルをつくる。 ・ボタンをつける。 ・ハンドルにボタンホールをあけて仕上げる。	理 なみ縫いの方法と縫い目をしごく意味、ボタン付けの方法、本返し縫い・半返し縫い・かがり縫いの特徴を理解している。（観察・作品） 創 色や形を工夫して、ミニバッグの製作計画を立てる。
	○針と糸を使って、家庭生活を工夫する。 ・作品製作を振り返り、工夫や改善点を交流し、ガイドブックに書き入れる。	閑 手縫いで開心をもじろ的に合った縫い方で生活にやくだつものを製作しようとしている。（観察・ワークシート） 知 用具を安全に取扱い、玉結び・玉どめ、なみ縫い、返し縫い、ボタン付けを使って小物入れを製作することができる。（作品・観察） 創 手縫いを用いて製作する楽しさや喜びを味わっている。（振り返りカード）
第 3 次		

布を選ぶ時間・
作品交流の
時間が短縮

My bag クイズ

カリマネ実践③ 家庭科と外国語活動

5年生 家庭科 「ひと針に心をこめて ~マイ・ミニバックを作ろう」



外語活動とのカリキュラム・マネジメント



その他の事例① 写真教育で感性や芸術性を磨く

5年 図画工作科 「子ども写真コンクールにちょうどせんしよう」



毎年、京都市内を会場に KYOTO GRAPHIE 京都国際写真祭が行われている



その他の事例① 写真教育で感性や芸術性を磨く

5年生 図画工作科 「子ども写真コンクールにちょうどせんしよう」

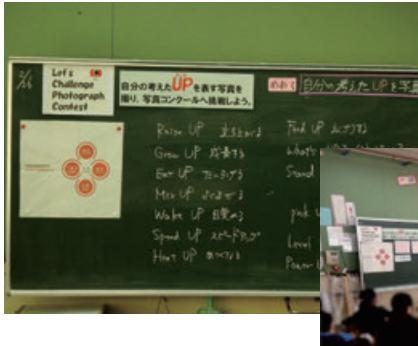


専門的な写真教育の指導ガイドをもとに写真教育も授業を行う

<https://www.kyotographie.jp/2018/education/>
https://www.kyotographie.jp/2018/wp-content/uploads/2018/04/2018_Slidejp_School-competitionR.pdf

その他の事例① 写真教育で感性や芸術性を磨く

5年 「子ども写真コンクールにちょうどせんしよう」



その他の事例 写真教育で感性や芸術性を磨く

5年 「子ども写真コンクールにちょうどせんしよう」

それぞれの作品に解説が

今年のテーマは「UP！」



万華鏡ミュージアムギャラリーで高倉子ども写真展開催(H30. 4. 27~29)



<https://www.kyotographie.jp/2018/kids-competition/>

その他の事例 主権者教育で自分の役割を考える

6年生 社会科「高倉を安心安全なまちにしよう」



平成28年度 学活
↓
平成29年度 社会科

3年総合「高倉の達人をみつけよう」
4年総合「やさしい町 高倉」
5年総合「わたしたちが守る高倉のまち」
↓
6年社会科「わたしたちの生活と政治」



その他の事例 自分の役割や使命を果たす

—主権者教育を通して—

6年 社会科「高倉を安心安全なまちにしよう」

学校・PTA・地域・行政(中京区役所・歩くまち推進室)共同参画授業



みんなが困っていることを見合ってみよう

自分の意見を出し合ってみよう



意見を交流する

解決策を考える

グループで出た意見を発表する

その他の事例 自分の役割や使命を果たす

—主権者教育を通して—

6年生 社会科 「高倉を安心安全なまちにしよう」



完成したリーフレットは家庭・地域に配布 協力: 中京区役所

学校教育目標を実現する教育課程の編成 取組の柱と基本的な考え方

- 各教科・領域の学習を「つなぐ」
- 子どもと家庭や地域の人材を「紡ぐ」
- 時代を超えて学びを継承させる「繋ぐ」
- 学校から他の地域や他国に発信しながら
「TSUNAGU」

体験の重視

リソース・マネジメント
(教育資源)

生活への実践化・行動化

研究主任が心がける

カリキュラム・マネジメントのポイント

- ①今ある資源を大切にしつつ教材を深化させていく
- ②繰り返し実践を行うことで根付かせていく
- ③育てたい資質・能力を明確にした単元づくり
- ④新たな資源の開発

足もとにある
宝ものへの気づき



未来をひらく教育

みんなでたしかめてみよう

学校教育目標が実現できているか
(めざす資質・能力が育っているか)

OUTCOME

カリキュラム・マネジメント (教育課程の管理)



教育資源はうまく活用できているか



不備や不安な点はないか

教職員全員がやりがい感をもって取り組めているか

時間の進捗状況は管理できているか

教員は育っているか

健康に仕事ができているか

自己有用感・自己尊重感は持っているか

【ポイント】

カリキュラム・マネジメントのねらい

教育課程に基づく組織的・計画的な教育活動の質の向上

・教育課程の編成

(教育目標、編成の重点、内容の組織配列、授業時数の配当)

・教育課程に基づく教育活動→指導計画→授業

※ 単元や題材など内容や時間のまとめを見通しながら、

児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと(総則 第3の1(1))

⇒ カリキュラム・マネジメントとアクティブラーニングとは重なり合う

⇒ カリキュラム・マネジメントは、すべての教職員にかかわる。

カリキュラム・マネジメント

個業にとどまらず、各教科で取り組んだことと教科横断で挑戦してきたことを教科単位や、**学年・学校全体**で振り返り、教育課程に反映し、改善していくことを強めていくことが必要。

カリキュラム・マネジメントの主たるねらいは、教育活動を組織的に向上させていくことである。

おわりに

(中学校学習指導要領 解説 総則編 P13)

中学校は義務教育であり、また、公の性質を有する(教育基本法第6条第1項)ものであるから、**全国的に一定の教育水準を確保し、全国どこにおいても同水準の教育を受けることのできる機会を国民に保障すること**が要請される。このため、中学校教育の目的や目標を達成するために各学校において編成、実施される教育課程について、国として一定の基準を設けて、ある限度において国全体としての統一性を保つことが必要となる。

一方、教育は、**その本質からして生徒の心身の発達の段階や特性及び地域や学校の実態に応じて効果的に行われることが大切**であり、また、**各学校において教育活動を効果的に展開するためには、学校や教師の創意工夫に負うところが大きい。**

このような観点から、学習指導要領は、法規としての性格を有するものとして、教育の内容等について必要かつ合理的な事項を大綱的に示しており、各学校における指導の具体化については、**学校や教師の裁量に基づく多様な創意工夫を前提としている。**



ご清聴ありがとうございました



京都市立高倉小学校

岸田 蘭子